

稲・大豆作情報 (NO. 10)

1. 水稻作況情報田の生育概況 (9月4日現在)

品 種 場 所	移植日 栽植株数	年 次	現在の生育状況				概況
			草 丈 c m	茎 数 本/㎡	主稈 出葉数	葉色 SPAD	
夢しずく 佐賀市 本庄町	6/17 17.7株/㎡ (平年6/16,18.1)	本 年 平 年 平年比	出穂期 8月17日 (平年より1日遅い)				8月6半旬は、高温(+2.3℃)、 多日照(139%)、少雨(16.5%) で推移した。 ◇平年と比べ、 「ヒヨクモチ」の 草丈：低い。茎数：多い。 主稈出葉数：平年並み (止葉抽出済み) 葉色：やや淡い ★「ヒヨクモチ」は9/6前後の出 穂予想。(幼耳節間：10.6cm)
さがびより 小城市 芦刈町	6/20 18.6株/㎡ (平年6/19,17.2)	本 年 平 年 平年比	出穂期 8月30日 (平年並み)				
ヒヨクモチ 小城市 牛津町	6/28 19.6株/㎡ (平年6/27,18.8)	本 年 平 年 平年比	75.7 79.9 (95)	564 494 (114)	16.1止葉 16.1止葉 (0.0)	37.3 38.1 (-0.8)	

注1) 各品種 前作：麦

注2) 施肥及び病害虫防除は地区基準に準ずる

注2) 平年値は、過去10年間(H25~R4)の平均値(さがびよりについては、R1年を除くH24年~R4年の平均値)

◆農業試験研究センター米づくり情報 第10号 9月4日(抜粋)

移植日	項目 品種	年 次	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	止葉 葉数	概況 (平年と比較して)
6月17日	夢しずく	本 年	8/17	未	14.1	【気象】8月28~9月3日まで ◆平均気温…平年より1.8℃高い ◆日照時間…長い(平年比107%) ◆降水量…少ない(平年比33%) 【出穂期】 「夢しずく」…平年並み 「ヒノヒカリ」…平年並み 「さがびより」…平年並み 「ヒヨクモチ」…2日早い 【止葉葉数】 「夢しずく」…平年よりやや多い 「ヒノヒカリ」…平年並み 「さがびより」…平年よりやや多い 「ヒヨクモチ」…平年よりやや多い
		平 年	8/17	9/24	13.4	
		平年比(差)	±0	-	+0.7	
	ヒノヒカリ	本 年	8/27	未	14.4	
		平 年	8/27	10/8	14.5	
		平年比(差)	±0	-	-0.1	
6月20日	さがびより	本 年	9/1	未	15.3	
		平 年	9/1	10/13	15.0	
		平年比(差)	±0	-	+0.3	
	ヒヨクモチ	本 年	9/4	未	16.5	
		平 年	9/6	10/29	15.9	
		平年比(差)	-2	-	+0.6	

注1) 耕起概要等は前号参照

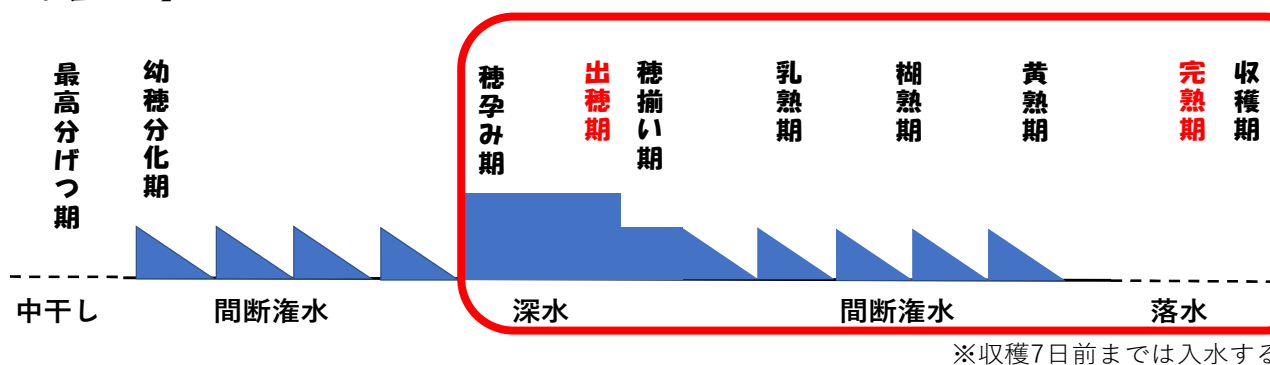
2. 水稲管理

6/中下旬移植の「夢しずく」は糊熟期、「ヒノヒカリ」は乳熟期、「さがびより」は穂揃期、「ヒヨクモチ」は出穂前～始めとなっているので、生育ステージに応じた水管理を行う。

地固めが不十分な圃場は断水期間を長めにとり、徐々に地固めと茎の充実を図る。

早植え水稲ではまもなく収穫期を迎えるが、登熟不良・品質低下防止の観点から収穫前の落水は7～10日前程度とし早期落水は避ける。

【 水管理 】



- ・全品種、水分ストレスに敏感な時期となっているため、強い水分ストレスを与えないよう間断灌水を励行し、湿润状態を保つ。
- ・気象庁の1か月予報では、今後も高温が続くと予想されている。
夜間の高温は、穂への養分転流が劣り、登熟歩合の低下や白未熟粒発生による品質低下が懸念される。
昼間のごく浅水→夜間の湛水管理を行い、なるべく地温を下げるよう努め、収量・品質の向上を図る。

○穂肥

ヒヨクモチ・・・分施を行っている場合は、実肥は下記の診断に基づき施用する。

ヒヨクモチの穂肥施肥基準(分施タイプ)

	穂肥Ⅰ (kg/10a)	穂肥Ⅱ (kg/10a)	実肥 (kg/10a)
施用時期の目安	8月15～17日頃 (幼穂形成始期 幼穂長1ミリ頃)	8月25～27日 (穂肥Ⅰの10日後)	穂揃期 (9月8日～10日頃)
LPBB804	40	—	—
BB602	25	10	10

※「全量元肥施用田(一発くん)」において、穂肥Ⅰ～Ⅱの時期にSPADで40を切る場合には、窒素成分で2kg/10a程度(BB602 10～20kg/10a)施用する。

○病虫害情報(発生および防除)

【トビロウンカ】

- ・9/4調査圃場ではトビロウンカは確認されていないが、必ず発生状況を確認し、必要であれば防除を実施する。

【コブノメイガ】

- ・各地で誘殺数が増加しているとともに、各地圃場でも発生が多く確認されている。(特に「ヒヨクモチ」で多い傾向：ほぼ全株で被害あり)。
- ・止葉を含む上位3葉に被害が発生すると減収につながるため、幼虫ふ化揃い期(発蛾最盛期の7日後)に防除を実施する。

【斑点米カメムシ】

- ・病虫害発生予察情報予報第6号(8/30)によると、9月の予報は「やや多」の予報発生量である。
- ・出穂後の除草は、水田内に斑点米カメムシ類を誘い込んで被害を助長するため、時期を逸した場合には収穫前まで除草しない。
- ・山麓部や河川敷付近など、例年発生が多い圃場では田廻りを励行し、防除を徹底する。
- ・防除はカメムシが穂に上ってくる夕方に行うと効果が高い。

草刈りの時期(目安)	斑点米カメムシ類の防除時期
全品種行わない	◎多発生:「穂揃い期」及び「乳熟期」の2回防除 ◎少発生:「乳熟期(出穂の約15日後)」1回防除

【紋枯病】

- ・8/28の調査では、更なる進展は確認していない。
- 9月の発生量は、やや多い予測となっており、生育が良好で、過繁茂状態の圃場では、一気に進展する恐れがあるため、田廻りを励行し、病斑が確認された場合は、病斑が上位葉の葉鞘に進展する前にバリダシン液剤(収穫14日前まで)等で防除を行う。

3. 大豆管理 ～ 生育に応じた適正管理を ～

大豆は開花期以降、特に水分を必要とする。今後も高温・少雨が予想されるため、暗渠排水の栓を閉めるなどして、土壌水分の確保に努める。

一方で局地的な大雨も予想されるため、明渠や畝間、排水溝をつなぎスムーズな排水ができるよう整備しておく。

○生育状況

7月15日播種	開花終
7月20日播種	開花最盛期

○雑草対策

- ・イネ科雑草が多いところでは、ポルトフロアブル、ナブ乳剤等で防除する。
- ・アサガオ類やホオズキは、繁殖力が強く、放置すると次年度以降の発生量が多くなるため、圃場内はもとよりまくら地や畦で発生している場合は、必ず抜き取り圃場外へ持ち出すか薬剤散布での防除を徹底する。

○水分ストレス対策(干ばつ対策&スムーズな排水対策)

大豆の根は、水分ストレスに弱く、長時間の浸水やその前後の干ばつに大きく影響を受ける(早期落葉、小粒化など)。圃場内に長時間滞水することがないように、排水路まで畝溝をつなげておき、大雨後は速やかに排水できるようしっかりと整備を行っておく。

○病害虫対策（発生及び防除）

- ・ハスモンヨトウ、オオタバコガなど鱗翅目幼虫の被害は、全体的にはやや少ない状況であるが、圃場によってはハスモンヨトウ、オオタバコガ、ウワバ類が見られるため、葉の食害跡に注意しながら圃場巡回を行い、確認後は適正防除に努める。

ハスモンヨトウ・オオタバコガ・ウワバ類・・・プレバゾン・ペガサスなど
シロイチモジヨトウ・・・プレオ・ディアナなど

- ・「病害虫発生予察情報予報第6号（8/30発表：大豆 9月）」で、9月は以下の予報が出ているため、今後も発生状況に留意し、適切な管理を行う。

【ハスモンヨトウ】

9月の気象予報も、気温は高く、降水量はやや多く、多発の条件となっている。

- ・白変葉（若齢幼虫の集団による被害）の増加し始めが防除適期のため、圃場をよく観察し適期防除を実施する。また、かけムラがないように規定の範囲で十分量を散布する。

【他のチョウ目：オオタバコガ・ウワバ類など】

- ・葉に大きな穴が開いた株が目立ち周辺に青虫がいる場合は、オオタバコガによる食害の可能性が高く、稀にミツモンキンウワバやシロイチモジヨトウが含まれる場合もある。
- ・オオタバコガやシロイチモジヨトウには、ノーモルト、トレボンは感受性が低下しているため、使用を避ける。また、防除にあたっては周辺作物へのドリフトに注意し実施する。



【カメムシ類】

カメムシが確認できる圃場が散見されているので、莢の伸長初期から子実肥大中期に適切に防除を実施する。

令和5年産 水稻の収穫期予想積算表【9月3日現在】

佐城農業振興センター

月	日・曜	平均気温		品 種													
		平年値	本年値	夢しずく					ヒノヒカリ		さがびより						
		℃	℃	早植え5/25移植	6/10移植	6/17移植	6/20移植	8/15出穂	8/17出穂	8/19出穂	8/24出穂	8/27出穂	8/28出穂	8/30出穂	9/1出穂		
積算気温 最低値		平坦上	900℃	平坦					880℃	平坦		900℃	平坦				900℃
積算気温 最高値		山麓	1,150℃	山麓					1,050℃	山麓		1,050℃	平坦				1,050℃
出穂後日数 最短～最長		35～45日			33～39日					40～50日		40～45日					
黄熟割合 早限～遅限		70～95%			75～90%					75～90%		75～85%					
籾水分 早限～遅限		29～25%			26～23%					28～25%		27～22%					
9月	1	金	26.6	25.3	917	582	495	439	380	229	143	113	53	出穂期			
	2	土	26.5	27.6	944	610	523	466	407	256	170	140	81	28			
	3	日	26.4	29.2	974	639	552	495	437	285	199	169	110	57			
	4	月	26.3		1,000	666	578	522	463	312	226	196	137	83			
	5	火	26.2		1,026	692	605	548	489	338	252	222	163	109			
	6	水	26.0		1,052	718	631	574	515	364	278	248	189	135			
	7	木	25.9		1,078	744	657	600	541	390	304	274	215	161			
	8	金	25.8		1,104	769	682	626	567	416	330	300	240	187			
	9	土	25.7		1,129	795	708	651	592	441	355	325	266	213			
	10	日	25.5		1,155	821	734	677	618	467	381	351	292	238			
	11	月	25.4		1,180	846	759	702	643	492	406	376	317	264			
	12	火	25.3		1,206	871	784	727	669	517	432	402	342	289			
	13	水	25.1		1,231	896	809	753	694	543	457	427	367	314			
	14	木	24.9		1,256	921	834	777	719	567	482	452	392	339			
	15	金	24.8		1,280	946	859	802	743	592	506	476	417	364			
	16	土	24.6		1,305	971	884	827	768	617	531	501	442	388			
	17	日	24.4		1,329	995	908	851	792	641	555	525	466	413			
	18	月	24.2		1,354	1,019	932	875	817	665	580	550	490	437			
	19	火	24.0		1,378	1,043	956	899	841	689	604	574	514	461			
	20	水	23.8		1,401	1,067	980	923	864	713	627	597	538	485			
	21	木	23.6		1,425	1,091	1,004	947	888	737	651	621	562	508			
	22	金	23.4		1,448	1,114	1,027	970	911	760	674	644	585	532			
	23	土	23.3		1,472	1,137	1,050	994	935	784	698	668	608	555			
	24	日	23.1		1,495	1,161	1,073	1,017	958	807	721	691	632	578			
	25	月	22.9		1,518	1,183	1,096	1,040	981	830	744	714	654	601			
	26	火	22.7		1,540	1,206	1,119	1,062	1,003	852	766	736	677	624			
	27	水	22.6		1,563	1,229	1,142	1,085	1,026	875	789	759	700	646			
	28	木	22.4		1,585	1,251	1,164	1,107	1,048	897	811	781	722	669			
	29	金	22.2		1,608	1,273	1,186	1,129	1,071	919	834	804	744	691			
	30	土	22.1		1,630	1,295	1,208	1,152	1,093	942	856	826	766	713			
10月	1	日	21.9				1,230	1,173	1,115	963	878	848	788	735			
	2	月	21.7				1,252	1,195	1,136	985	899	869	810	757			
	3	火	21.6				1,274	1,217	1,158	1,007	921	891	832	778			
	4	水	21.4				1,295	1,238	1,179	1,028	942	912	853	800			
	5	木	21.2				1,316	1,259	1,201	1,049	963	933	874	821			
	6	金	21.1							1,070	985	955	895	842			
	7	土	20.9							1,091	1,005	975	916	863			
	8	日	20.7							1,112	1,026	996	937	884			
	9	月	20.6							1,133	1,047	1,017	958	904			
	10	火	20.4							1,153	1,067	1,037	978	925			
	11	水	20.2							1,173	1,087	1,057	998	945			
	12	木	20.0							1,193	1,107	1,077	1,018	965			
	13	金	19.8							1,213	1,127	1,097	1,038	985			
	14	土	19.6							1,233	1,147	1,117	1,058	1,004			
	15	日	19.4							1,252	1,166	1,136	1,077	1,024			
16	月	19.2							1,271	1,185	1,155	1,096	1,043				
17	火	19.0							1,290	1,204	1,174	1,115	1,062				
18	水	18.8							1,309	1,223	1,193	1,134	1,081				
19	木	18.6							1,328	1,242	1,212	1,153	1,099				
20	金	18.4							1,346	1,260	1,230	1,171	1,118				

＜収穫適期の目安＞

◎穂軸の先端（穂先）から、穂長の1/3～1/4程度が枯れ、1穂粒数の1割程度が活青米で残っている状態。
◎刈り取り適期の籾水分は、「夢しずく」で26～23%（平坦上～山麓は29～25%）、「ヒノヒカリ」で28～25%、「さがびより」で26～22%、「ヒヨクモチ」は28～22%となっております。

早刈りは、玄米の充実不足による「青未熟粒」や「死米」が発生しやすくなります。「青未熟粒」が多いと食味が劣り、また収量も低下しますので、早刈りは避けましょう。

＜収穫のポイント＞

- 積算表はあくまで目安です。
- 圃場毎の熟れ具合を確認したうえで、収穫日を決定してください。
- 早期落水は充実不足により、品質低下の原因となります。必ず間断灌水を実施して、根の活力維持に努めて下さい。
- コンバイン収穫前には、麦などの異種穀粒 や異物が混入しないように清掃点検を行いましょ。
- 日中の高温条件での収穫となり、籾水分も高いので、収穫後はできるだけ、速やかに通風・乾燥を行いましょ。一時堆積の時間が長いと、籾の温度が高くなり、ヤケ米が発生します。